

パワーポイント音声動画 作成マニュアル

目次

- 最低限必要な機能 P1
- マイクの確認方法 P2~3
- 注意事項 P4~5
- Windows PowerPoint2010の場合 P 6~ 9
- Windows PowerPoint2013/2016の場合 P10~13
- Windows PowerPoint2019/office 365の場合 P14~18
- MAC PowerPoint for Mac 2019の場合 P19~27

最低限必要な機能

1.音声入力ができる環境

内臓マイクを使用すると設定が可能ですが、ノイズの影響が大きくなります。
ヘッドセットなど、外付けのマイクの仕様を推薦します。

2.特定のバージョンのPowerPointを搭載していること

Windowsの場合→PowerPoint 2010,2013,2016,2019, office365のいずれ
Macの場合→PowerPoint for Mac 2019,office 365 のどちらか
推奨:Windows版:2016/2019/365 Mac版:2019/365

マイクの確認方法

「スタート」>「設定」>「システム」>「サウンド」と選択し、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに喋り、反応することを確認します。

1 : Windowsマークをクリック
2 : 設定マークをクリック

3 : システムをクリック
4 : サウンドをクリック

登録されていれば、
繋げたマイクの
名前が出ます

声を出した時に
「マイクのテスト」
に反応があります

- Windowsでもカメラ付きのPCであれば、PC内臓マイクで録音は可能です。（使用PCの仕様書参照）
- USB以外でも4極のミニピンのマイクがあればそちらで録音も可能です。（スマートフォン購入時に付属してくるマイク付きイヤホンなど）（下記①②画像参照）

上記以外のWindowsのPCをご利用の場合、USB接続のマイクが必要です。

MacのPCはマイクが内臓されておりますのでUSBマイクなどを使用せずに録音をすることも可能です。

①挿し口



②4極ミニピンマイク



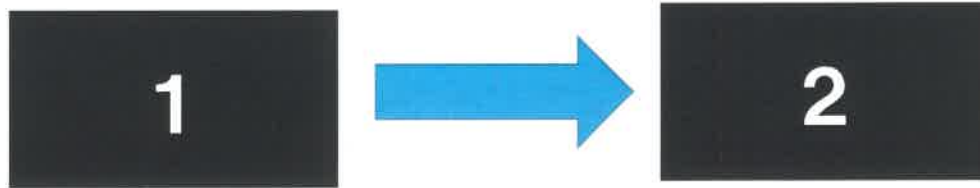
注意事項

- 非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。
- プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除もしくは非表示スライドに設定してください。
- 作成いただいたファイルは指定サーバーまでアップロードをお願いします。
- カメラ機能が付いている場合はカメラをOFFにしてください。

録音時のポイント

◆ 次のスライドに行く前に一呼吸

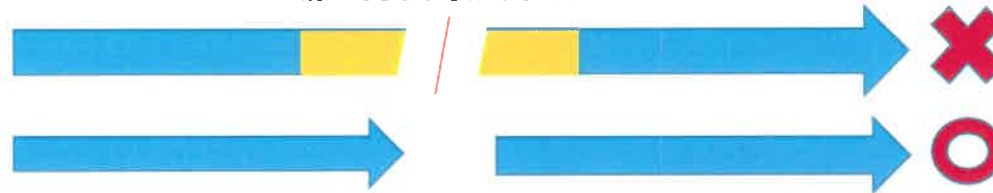
PowerPointの録音は各スライドごとに別の録音データになります。そのため、話をしながらスライドを切り替えてしまうと、その時の音声途切れてしまう事があります。次のスライドに進む際は、少し間を置いて、何も録音しない余白を作るように意識していただくのがおすすめです。



スライド切り替え時に途切れさせず話続けてしまうと

次のスライドへ切り替わる間の録音は
消えてしまう事があります

スライドが切り替わるたびに
唐突に音声途切れてしまい
質の悪いデータとなってしまいます



スライド切り替え時は一呼吸おいていただくと

聞き取りやすいデータになります。

なるべく一度で録音を終了してください。（修正すると、タイミングポイントに不具合が起こる可能性があります）
録音をし直した場合はずれが無いかな必ず確認してください。

◆ マイク設定をご確認下さい

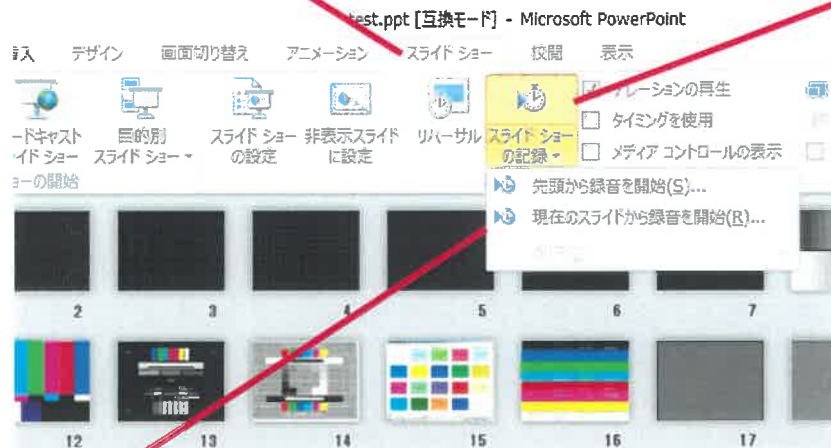
※いきなり全部を録音するのではなく、試しに1枚目だけの録音をして、実際の音量、音質の確認をお願いします。

音がゆがむ場合・自動的に音量が変わってしまうことが分かった場合は、マイクのプロパティを確認していただき「ノイズ制御」「音響エコーキャンセル」「オートゲインコントロール」「DCオフセット除去」など、音量などを自動修正する機能のチェックを外してみてください。（マイクによってはこれらの項目はありません）

Windows PowerPoint2010の場合

① : [スライドショー]
タブをクリック

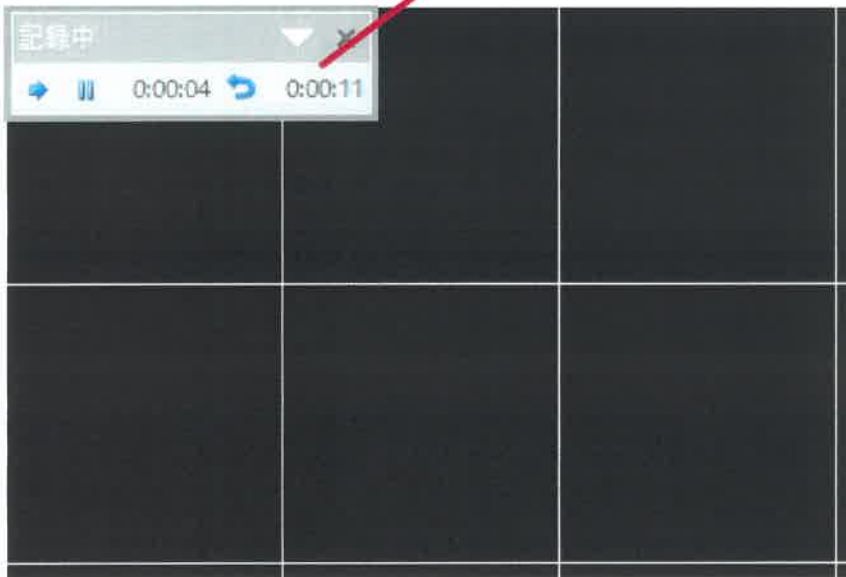
② : [スライドショーの
記録を] クリック



③ : [先頭から録音を開
始] をクリック

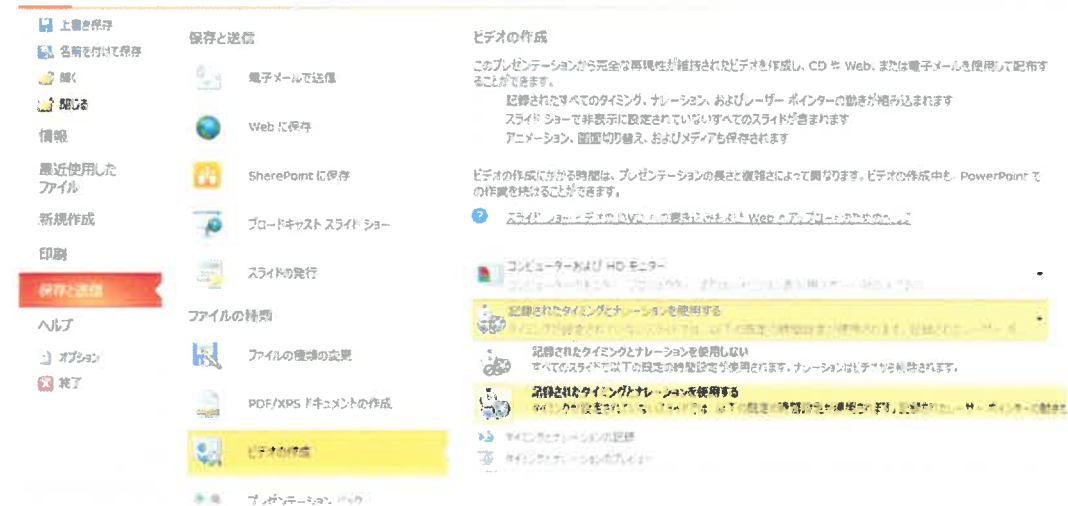
④ : [スライドショーとアニメーションのタイミン
グ] [ナレーションとレーザーポインター] の
チェックが入っている事を確認して記録の開始

⑤ : 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める



⑥ : スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して音声やスライドのタイミング等問題ないか確認。

⑦ : スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
【ファイル】 → 【保存と送信】 → 【ビデオの作成】
で書き出します。



ビデオ解像度は最大の【1920×1080】を選択

【記録されたタイミングとナレーションを使用する】を選択

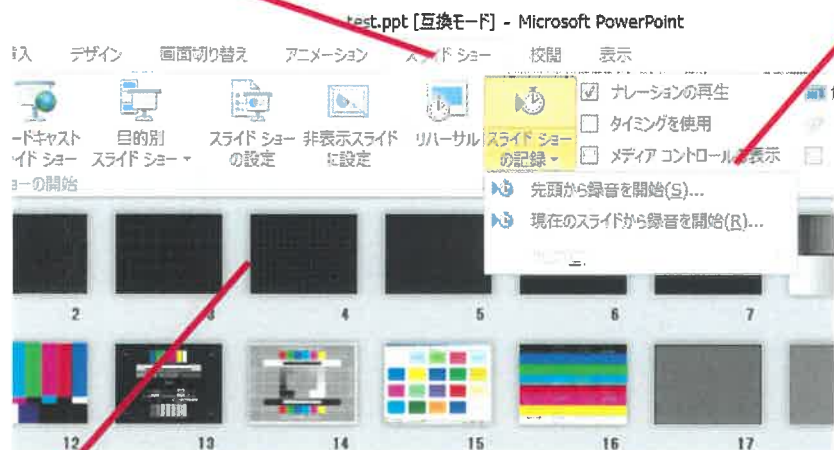
- 最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。
- ファイル名は「演題番号__演者名 例O-01__久留米太郎」としてください。
- 右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
- 動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーから中程度の品質の動画を作るのに約20分かかります。

Windows PowerPoint2013/2016の場合

① : [スライドショー]
タブをクリック

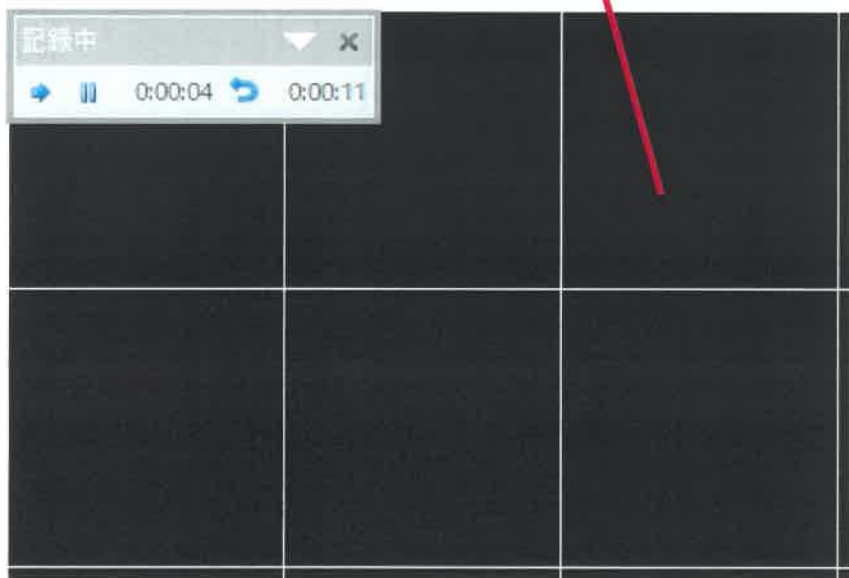
② : [スライドショーの記録を]
クリック



③ : [先頭から録音を開始]
をクリック

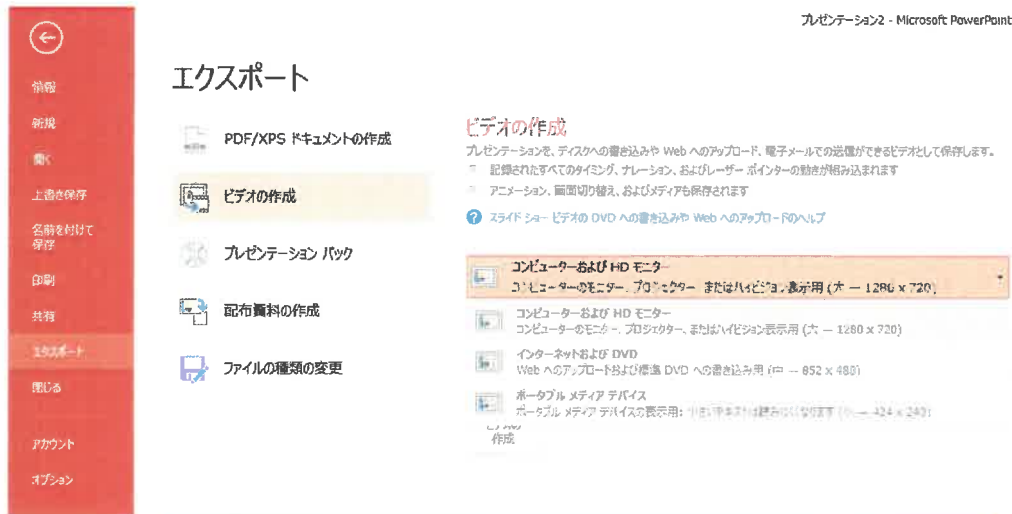
④ : [スライドショーとアニメーションのタイミング]
[ナレーションとレーザーポインター] のチェックが
入っている事を確認して記録の開始

⑤ : 左上の記録中を確認し、プレゼンテーションを進める

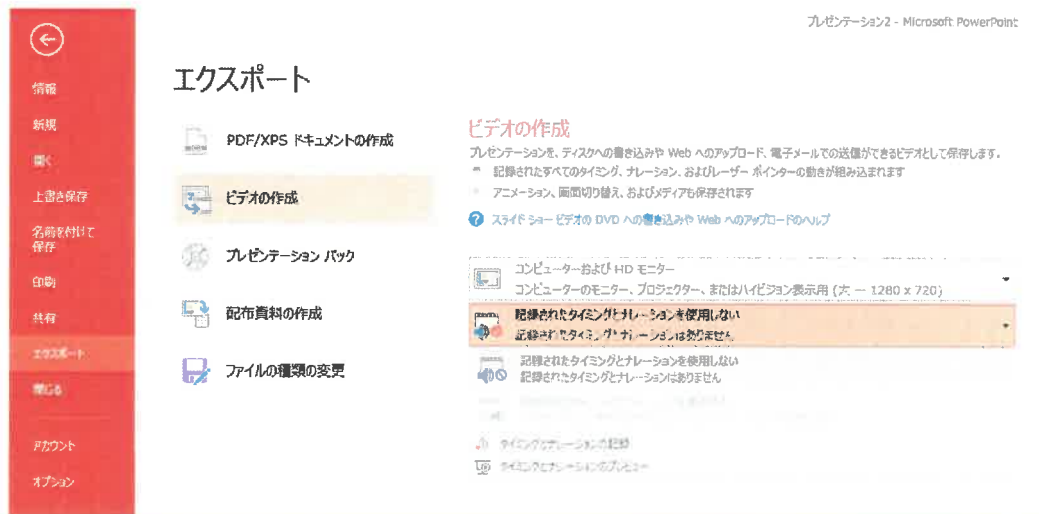


⑥ : スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にみていただく、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）する。再度ファイルを開きスライドショーで確認して音声やスライドのタイミング等問題ないか確認。

⑦ : スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
【ファイル】 → 【保存と送信】 → 【ビデオの作成】
 で書き出します。



ビデオ解像度は【1920×1080】を選択



【記録されたタイミングとナレーションを使用する】を選択

- 最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。
 ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。
- ファイル名は「演題番号_演者名 例O-01_久留米太郎」としてください。
- 右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
- 動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーから中程度の品質の動画を作るのに約20分かかります。

Windows PowerPoint2019/Office 365の場合

① : [スライドショー]
タブをクリック

② : [スライドショーの記録を]
クリック



③ : [先頭から録音を開始]
をクリック

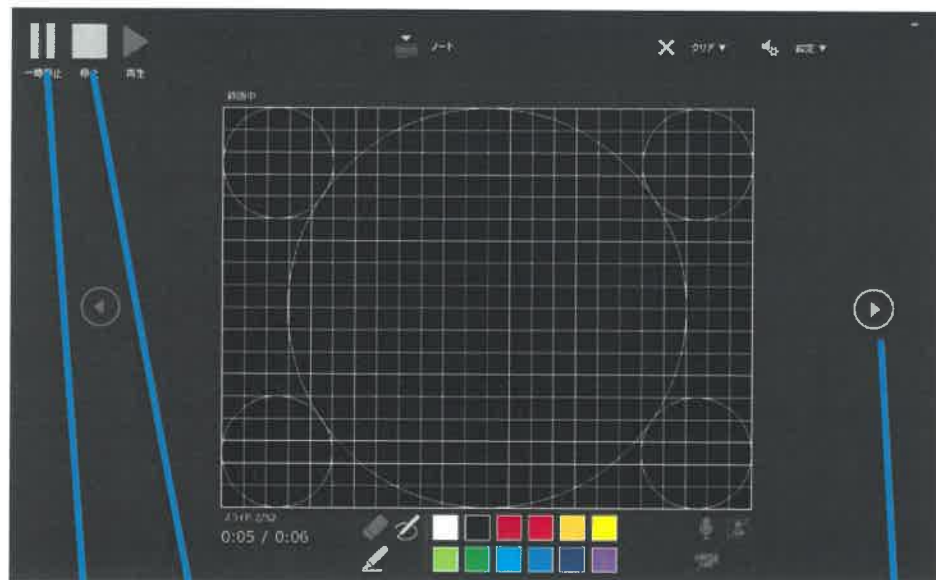


④ : [記録の開始] をクリック

ご自身の顔を表示したくない場合は
[カメラのプレビューをオフにする] を
クリック

⑤ : マイクに向かってナレーション録音
スライドも任意のタイミングで進める

⑥ : 下記画面まで進めると自動的に録画が停止になります。
スライドをもう一枚進めると元の画面に戻ります。



【記録の停止】をクリックすると
そこまでの記録が残ります

【記録の一時停止】をクリックすると
再生中のアニメーションが止まります



ここをクリックもしくは
スライド上をクリックすると次の
アニメーションに進みます

test[Compatibility Mode] - PowerPoint

サインイン

ファイル ホーム 挿入 デザイン 画面切り替え アニメーション **スライドショー** 校閲 表示 ヘルプ 作業を入力してください

最初から 現在のスライドから オンライン プレゼンテーションから スライドショーの開始

スライドショーの設定 非表示スライドに設定 リハーサル スライドショーの記録

ナレーションの再生

タイミングを使用

メディアコントロールの表示

モニター: 自動

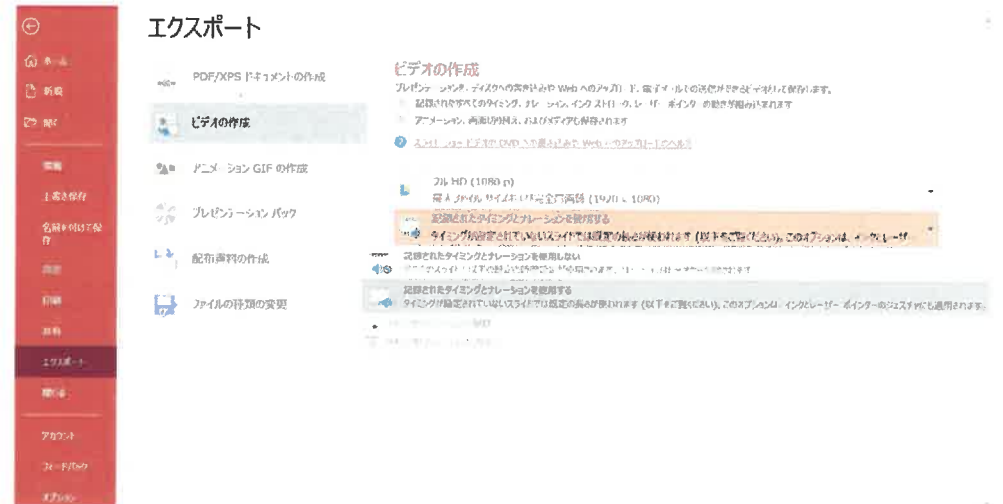
発表者ツールを使用する

設定 モニター

1 ☆ 00:02 2 ☆ 00:09 3 ☆ 00:02 4 ☆ 00:00

⑦ : スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー一覧表示にみていただくと、各スライドの左下に時間が明記されていることを確認。
PowerPointを保存（新しく名前を付けて保存）する。
再度ファイルを開きスライドショーで確認して音声やスライドのタイミング等問題ないか確認。

⑧：スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う。
 [ファイル] → [保存と送信] → [ビデオの作成]
 で書き出します。



ビデオ解像度は [1920×1080] を選択

[記録されたタイミングとナレーションを使用する] を選択

- 最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式ではMP4形式を選択します。
- ファイル名は「演題番号_演者名 例O-01_久留米太郎」としてください。
- 右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。
- 動画作成の進捗は、右下に表示されます。

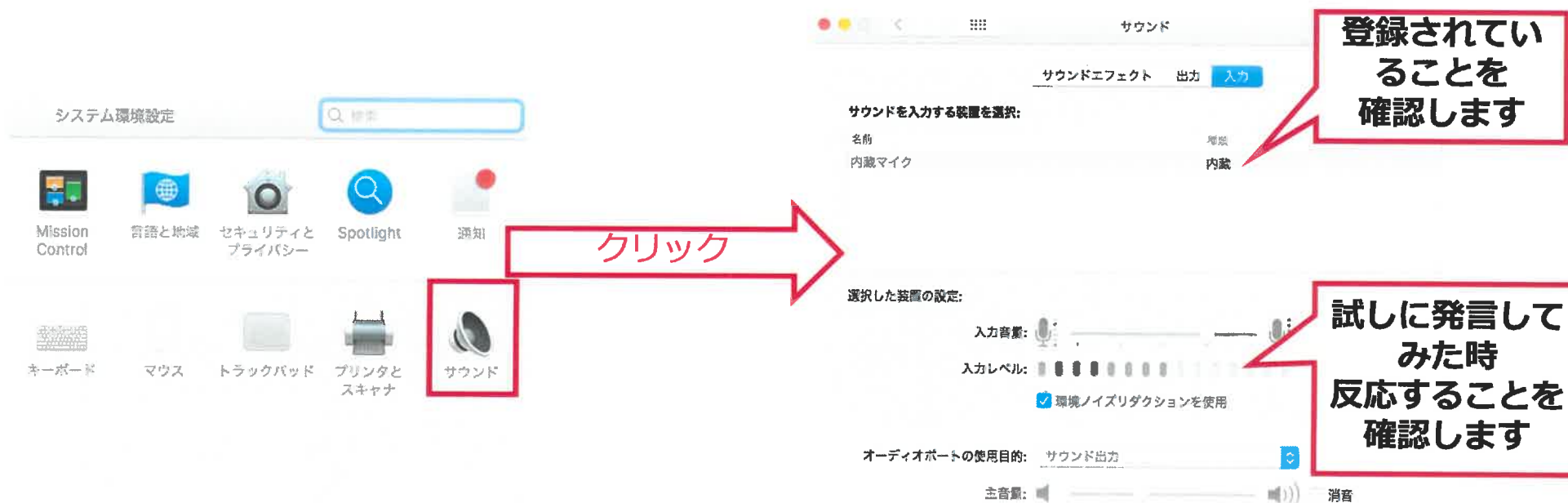
※20分のスライドショーから中程度の品質の動画を作るのに約20分かかります。

Mac PowerPoint for Mac 2019の場合

マイクの確認

「システム環境設定」>「サウンド」>「入力」をクリックし
入力デバイスが登録されていることを確認します。

「選択した機器の設定」では試しに喋ったときに反応するか確認します。



PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」 > 「セキュリティとプライバシー」 > 「プライバシー」 > 「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。



PowerPointでの録画の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているのを確認します。
「スライドショー」>「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録画が開始します。

1枚目が選択されている状態であればOKです。

カーソルを合わせた時、「先頭から録音を開始」という注釈が現れることがあります。

クリックすると画面が切り替わり、録画が開始される。

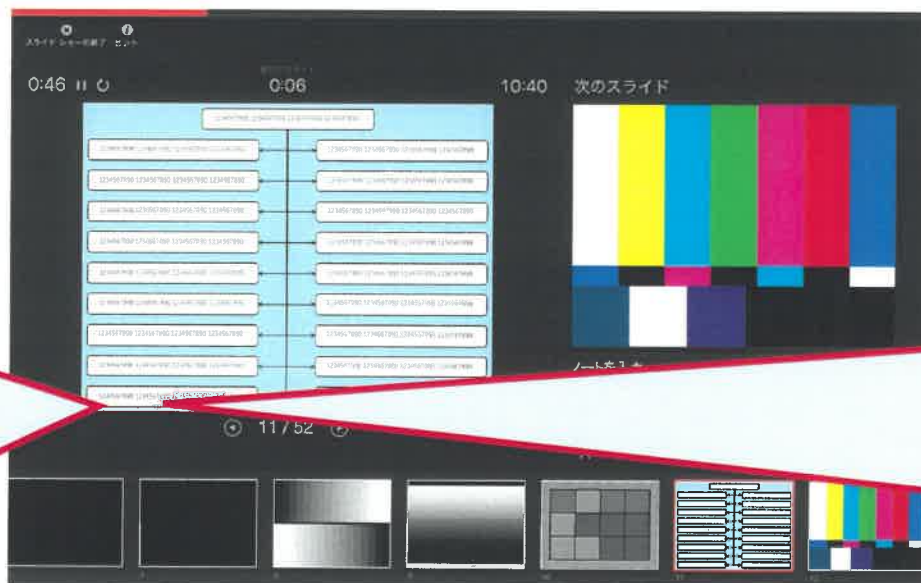
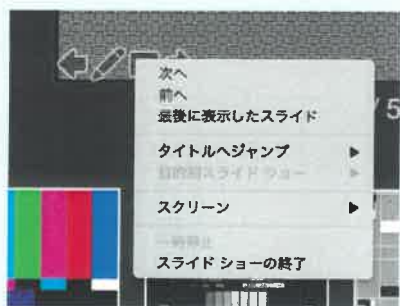
スライドショーの実施

通常通り、スライドショーを行ってください。ペンやポインター等も使えますが、

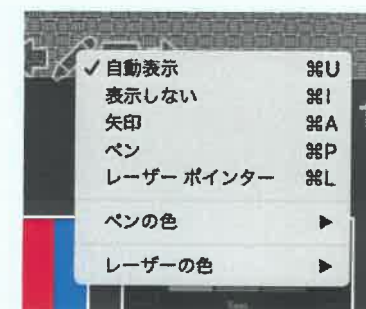
最終的に動画で記録されるのはスライド移行のタイミングと音声のみです。

また、前のスライドに戻ると戻ったスライド以降の録音を取り消される事に注意してください。

記録中も、左下のスライドショーツールバーから、一枚目または一個目のスライドに戻れます。
(非推薦)



左下のツールバーからペン・蛍光ペン・ポインターが使えますが、これらに関しては記録されません。



スライドショーの終了

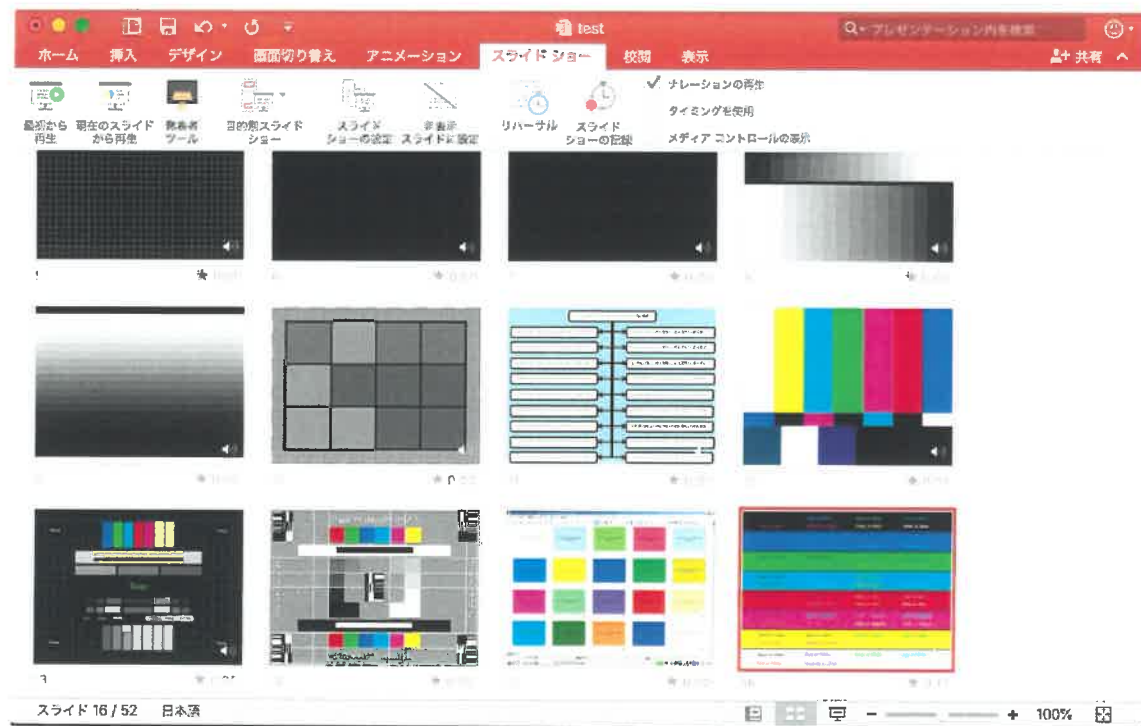
スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると、「今回のタイミングを保存しますか?」という質問が現れるので、「はい」を選択します。



動画に入れるスライドの選択

動画に入れるスライドを選択します。非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれてしまいます。

プレゼンで使用しなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、このタイミングで非表示スライドに設定することを推奨します。



保存先の選択

「ファイル」>「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。

ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式でMP4形式を選択すると、詳細が設定できるようになります。



画質の選択、動画作成と保存

画質は「インターネット品質」を選択し、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。

「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。

